

「巻頭特集」スーパーヤオスズ株式会社

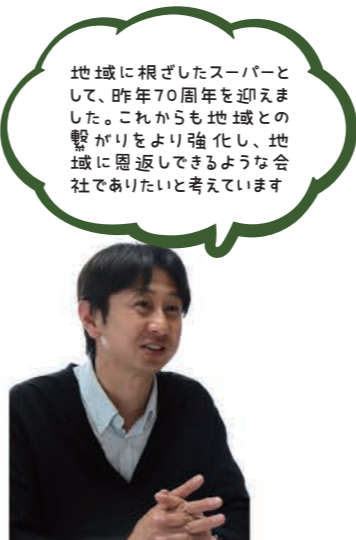
# 地域の人たちから頼りにされる店作りを

刈谷市を拠点に4店舗展開しているスーパーヤオスズ。創業以来、「新鮮おいしいものをお値打ちに」をモットーに、地域密着スーパーを目指してきました。昨年からは専用の軽トラック「とくし丸」による移動販売を始め、評判となっています。

## 地元産を中心に新鮮で良質な食材をお値打ちに

昭和22年6月、桜町に八百屋として創業。青果に加え、鮮魚や精肉、総菜類の販売を開始した昭和41年以降、総合食品スーパーへの業態転換を図り、丸田店、高津波店(現ポケット店)、小垣江店(現アップティー店)を相次いで開いていきました。昭和53年には、スーパーヤオスズ株式会社を設立します。その後、知立店(現キララ店)、半城土店(現ライプ店)を開店し、身近なスーパーとして地域に根付いてきました。各店舗に並ぶ野菜や果物は、刈谷市とその近郊で生産されたものが多くを占め、鮮度が良く、お値打ち価格。特に果物は定評があります。「おいしく新鮮な地元産の青果にこだわった品ぞろえは、創業者である祖父の時代からずっと変わっていません。巨峰やリンゴ、ミカンなどはもう30年以上も同じ生産者の方から仕入れています」と代表取締役社長

の丹羽一仁さんは話します。根強い人気のブランド豚「もち豚」をはじめ、肉はヤオスズで買う、という声もよく聞かれます。最近は精肉についても地元志向に力を注いでおり、愛知県内の生産者と契約を結び、自社ブランド「極みシリーズ」を立ち上げました。「去年お客様から参加者を募り、極みシリーズの生産者のもとへ見学に出かけました。産地や食品工場を見学する食育モニター会を、創業70周年を機に復活したところ大変好評で、今後もし続けていきたいと考えています」と総務部の丹羽加奈恵さん。



代表取締役社長 3代目 丹羽一仁さん

とくし丸には生鮮食品から日用品まで、顧客からのリクエストも反映した、約300品目が積み込まれています

ヤオスズが掲げる基本理念。最初に記されているのは「安心安全を提供し、地域の皆様へ健康作りへ貢献」です



皆さんのもとへたくさんの商品をお届けします!



とくし丸への問い合わせは下記まで  
とくし丸1号車:090-1748-1940(刈谷南部・刈谷中部)  
とくし丸2号車:090-9128-1940(刈谷北部・知立)

とくし丸販売担当 加藤真由美さん

## おはぎやとりめしなど多彩な手作り総菜も人気

総菜市場は、平成に入った頃から右肩上がりに成長を続けてきました。ヤオスズでも平成15年、高浜市に総菜工場を建設して、総菜部門を強化しています。工場ではあらかじめ調理の下ごしらえや注文弁当の製造をしているため、店舗でのスムーズな店内調理が可能。できたての提供にこだわっており、昨年から事業所向けに健康志向の日替わり弁当「すず菜弁当」も始動しています。

名物商品を作ることも取り組みました。その代表格が「おはぎ」。お彼岸の時期には、1日最高3千個売れたといえます。毎朝、小豆を炊いて作るあんこのほどよい甘さと、モチモチした餅(愛知県産ミルクケーキ)と国産もち米をブレンド)が好評で、おはぎを自当で訪れる人も少なくありません。また、工場がある高浜市で昔から食べられてきた郷土食を再現した「とりめし」など、地産地消の手作り総菜が豊富で、単身者用に小分けしたパックもそろい、人気を呼んでいます。

## とくし丸の稼働を機に地域との繋がりをより強く

「3、4年前に、地元スーパーの廃業や店舗の縮小が続く、近くに買物できる場所がなくなったという声が目立つ頃、とくし丸がメディアで取り上げられ注目されて、市からうちに打診があったのですが……」地元の買い物弱者と呼ばれる人た

ちに貢献したいという思いがある反面、適任のドライバーが確保できない限り、踏み出せなかったと、丹羽社長は当時を振り返ります。「一人柄やコミュニケーション能力はもちろんのこと、接客や人のお世話が好きでないとやれない仕事です。縁あって理想にピッタリのドライバーさんが見つかり、昨年12月、待望のとくし丸をスタートすることができました」

事前開拓として2カ月ほど、市内の高齢者宅を1軒1軒回って事業の周知に努め、利用希望者の家を線で結んでルートを作成していきまし。予想以上の需要があり、1台では回りきれないため、今年4月からは2号車も稼働しました。

食料品や日用品など約300アイテムを積み込み、朝10時に1号車はアップティー店を、2号車はキララ店をそれぞれ出発します。各ルートを週に2度巡回。要望や注文の品があれば、次回届けるようにしています。「とくし丸を始めて、介護福祉関連、市役所、警察署など多方面と繋がるようになり、さまざまな意見がうかがえる機会が増えました。日々の買い物に関してだけでも、外出が困難な高齢者、子育て中のお母さん、障がい者の方など、いろいろとお困りの方が地域に大勢いることを実感しました。そんな方々にも頼りにされるスーパーを目指していきたいです」と丹羽社長は食を通じた地域貢献を、これからも続けていくとしています。

- 市内店舗一覧
- ポケット店**  
刈谷市高津波町4-504  
電話:0566-23-4666
  - アップティー店**  
刈谷市小垣江町蛸ヶ坪55-3  
電話:0566-23-5288
  - 食彩館ライブ店**  
刈谷市半城土中町1-2-5  
電話:0566-23-4171

文/長屋整徳 写真/編集室 デザイン/Beanstalk 白石純也



- 刈谷の大根、安城の葉物、碧南のニンジンなど、地域の特産野菜がお値打ち価格で店頭に並びます
- こってりややや甘めの味付けした鶏肉とニンジン、油揚げなどを混ぜた、昔ながらの味ご飯「とりめし」
- 大人気のおはぎ。地元産のフクユタカ大豆を使ったきこもおすすめです
- とくし丸が来ると周囲の住民が集まって、おしゃべりし買物を楽しむ姿が見られます
- 取材日の5月上旬、店頭ではドライバーの加藤さんがとくし丸に商品をたくさん積み込みます。午前10時、とくし丸の到着を心待ちにする人のもとに出発します
- ネットスーパーとは異なり、自分の目で見て、手に取って、選べるのも、とくし丸の魅力です

